

Hotel Toranomon Hills

ハイアットのインディペンデント・コレクション・ブランド「アンバウンド コレクション by Hyatt」として東京初進出の「ホテル虎ノ門ヒルズ」の館内アートワークを手掛けました。複雑に入り組んだ大都市東京のように、より刺激的で、より自由で、新たなインスピレーションを誘発する、多種多様な素材と技法の融合・掛け合わせにより生まれる形式にとらわれないアンバウンドなアートワークを展開しました。

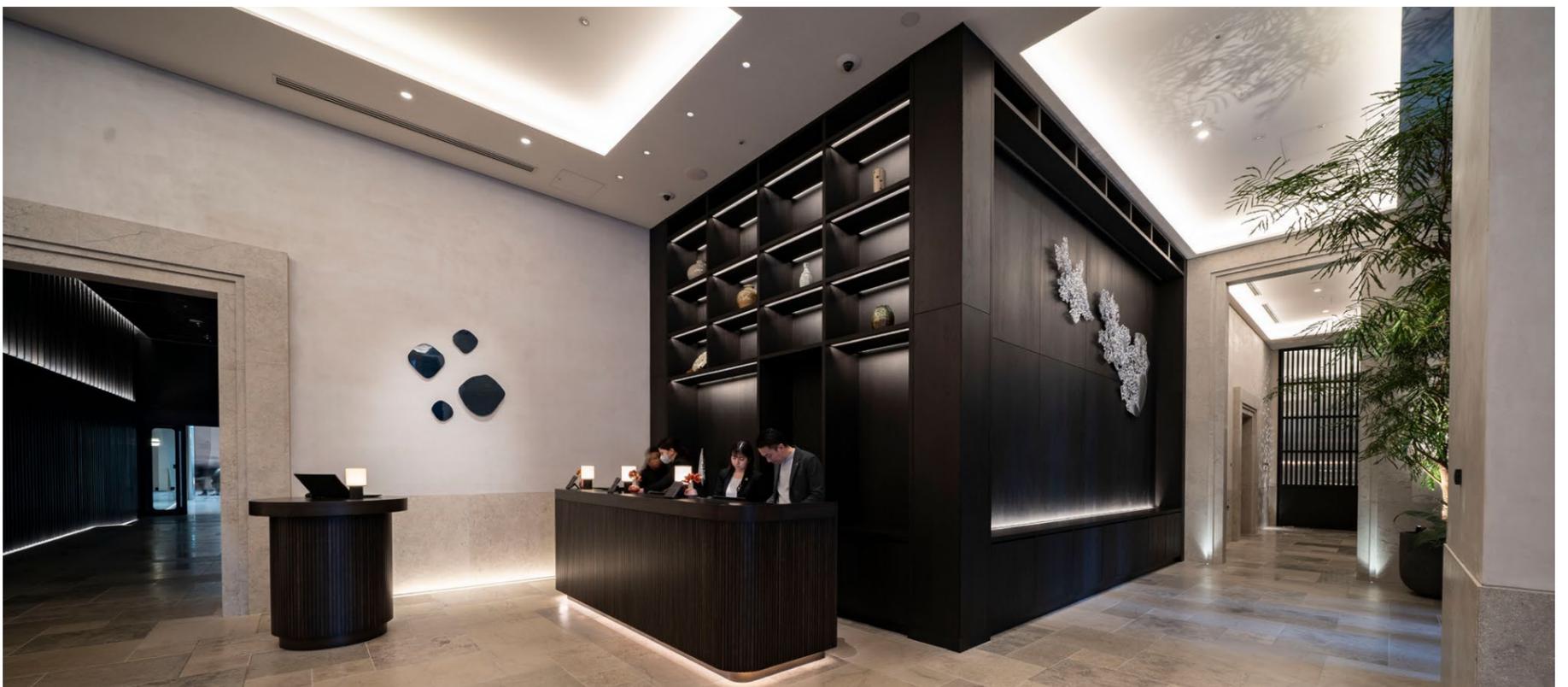


物件名
ホテル虎ノ門ヒルズ
開業
2023年12月
事業主
森ビル株式会社
インテリア設計
スペース・コペンハーゲン



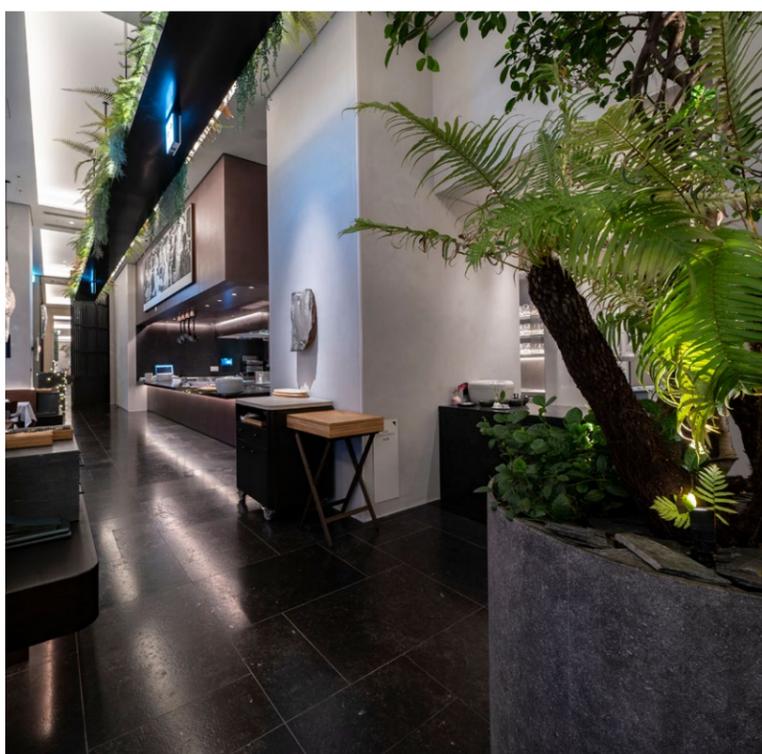
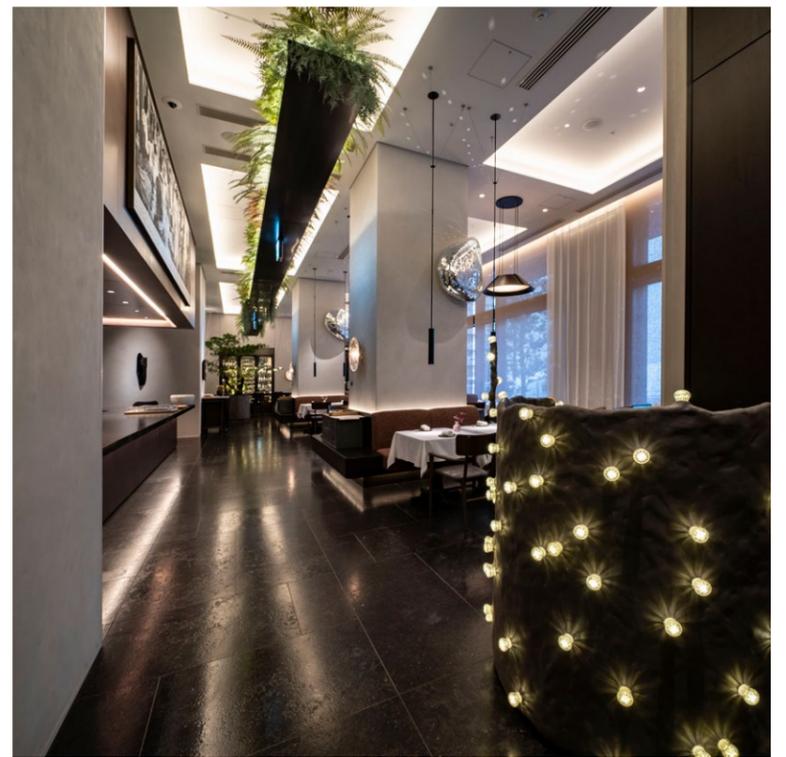
1F Entrance Lobby

ホテルの顔となるファーストインプレッションの場所として、伝統的な既存の技法から離れた斬新な技法を用いて制作し都市（虎ノ門）の変化発展や多様性、複雑性を表現するアートワークを選定しました。



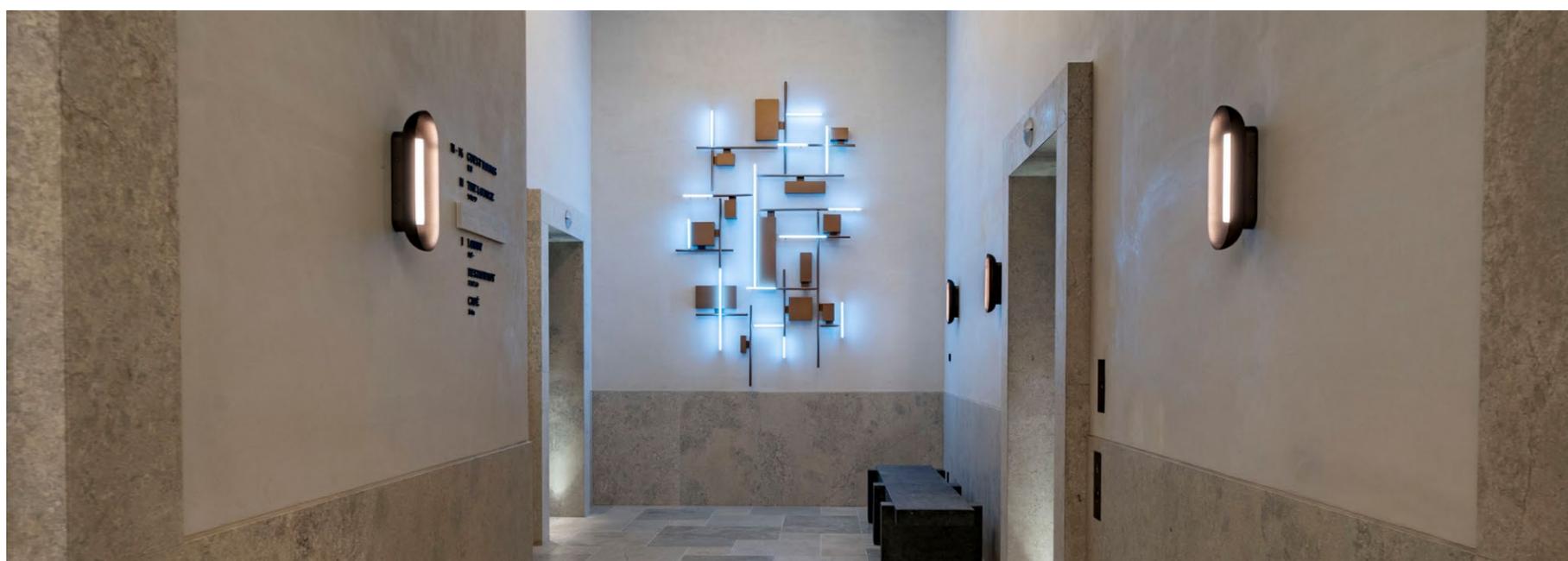
1F Restaurant [Le Pristine Tokyo]

ベルギー・アントワープに本店を構えるレストランブランド、Le Pristine の「食」「ファッション」「デザイン」「アート」「音楽」からなる5つのエレメントで紡ぐ新感覚の「没入型ガストロノミー」体験を軸に、オランダや日本のアーティストを中心としたモダンかつ洗練されたアートワークをコーディネートしました。シェフのセルジオ・ハーマン氏と深いつながりを持ち、彼のルーツを反映したアーティストたちの作品が空間に色を添えています。



1F Cafe [Le Pristine Tokyo]

昼夜で表情を変化させる多様なマテリアルのアートワーク。利用する時間帯、見る角度によって変わる見え方は新鮮な驚きを与えてくれます。



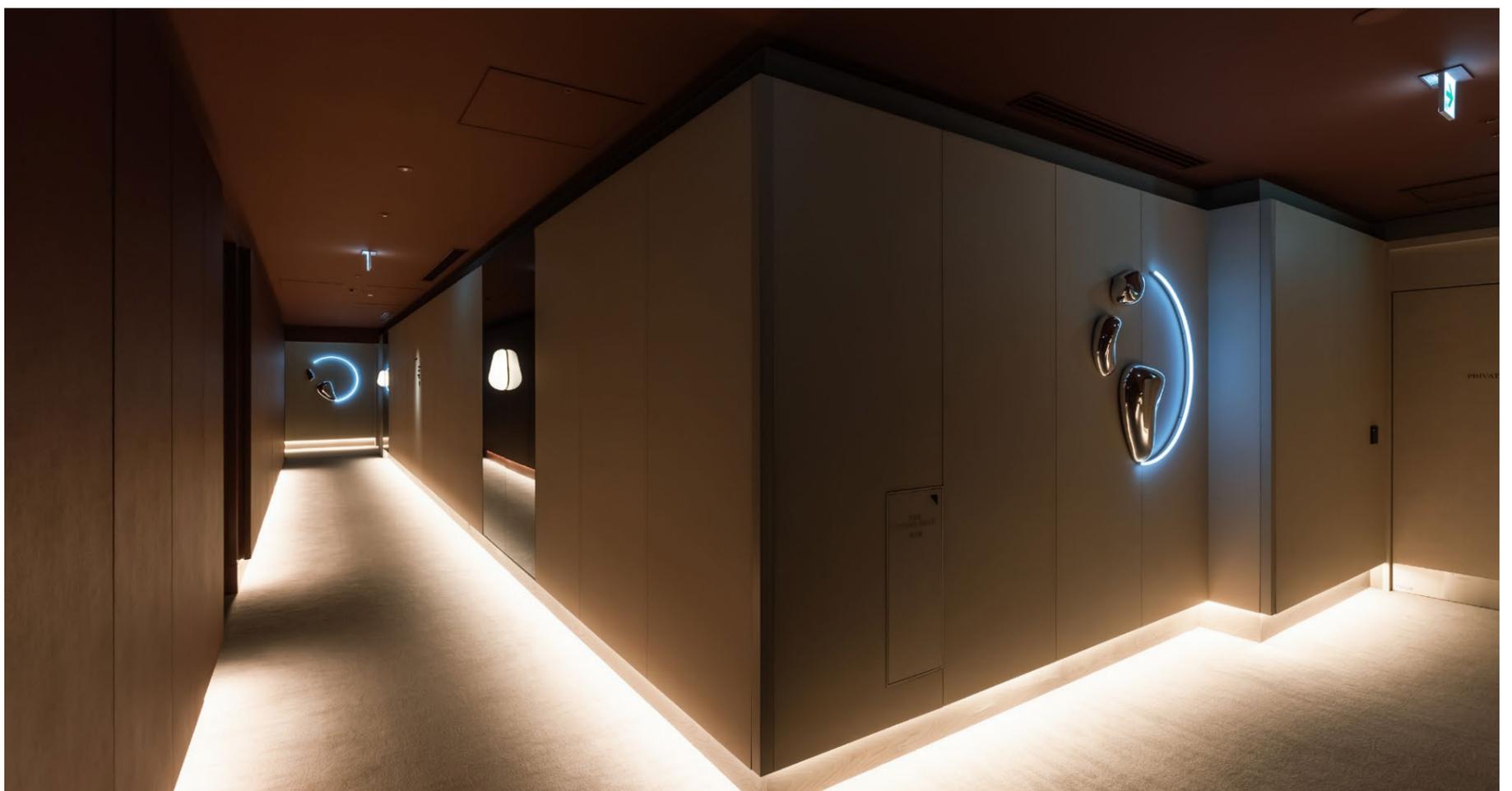
Lift Lobby

客室階のEVホールには、虎ノ門のエリアの形状をデフォルメさせてデザインした和紙のアートワークをちりばめました。11Fを虎の門地区全体の姿、それを東西南北に分割しデザインしたものを各階に配しています。



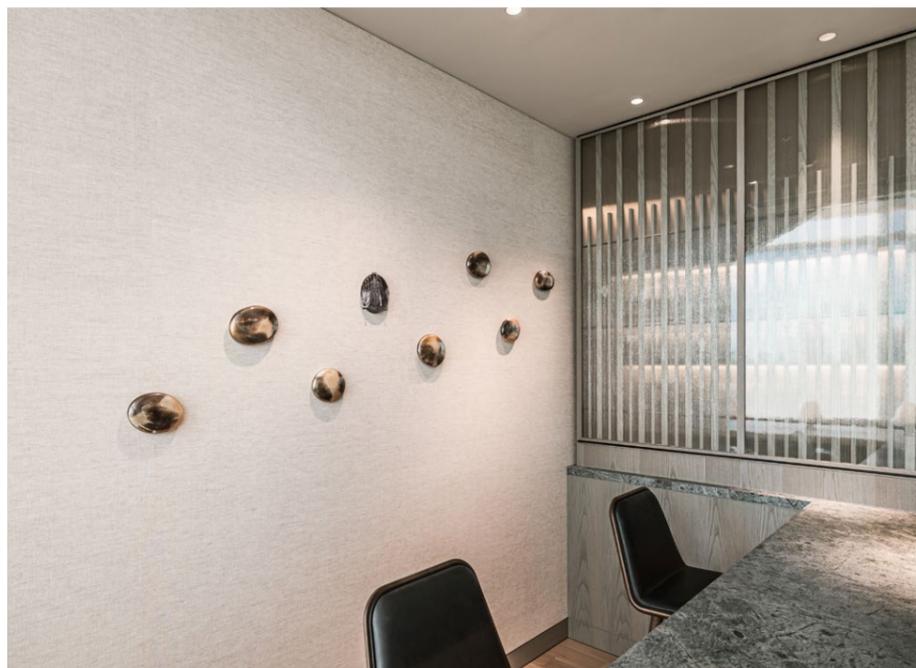
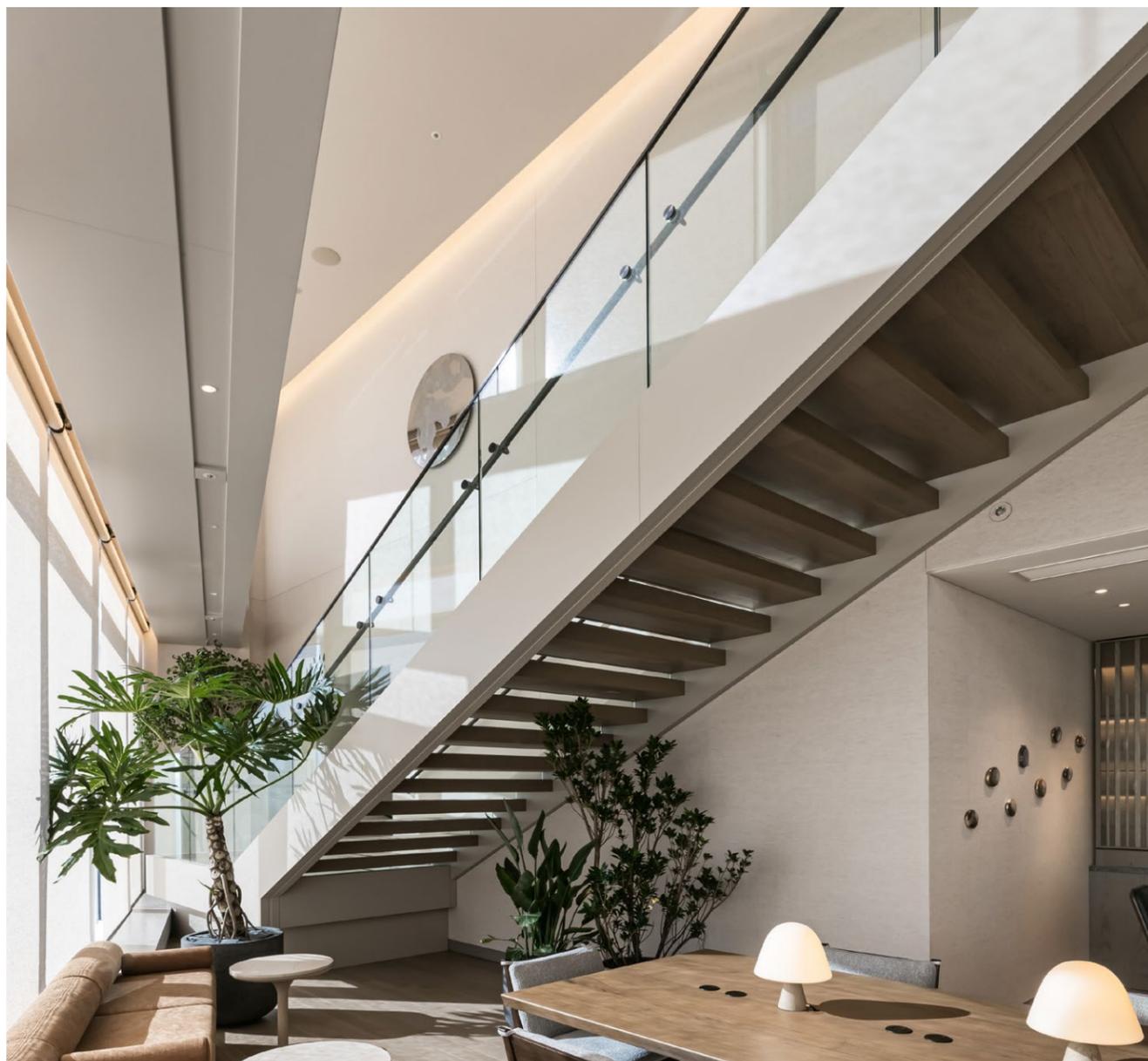
Corridor

Neo-KARESANSUIというネオンとFRPモチーフを使用したアートワーク。ネオンで表現する新たな感覚の枯山水は1フロアに4か所設置されています。回廊のように設計された廊下の四隅に配され時計回りに巡ると円形のネオンの長さが伸びてやがて完全な円に満ちていくストーリーが込められています。



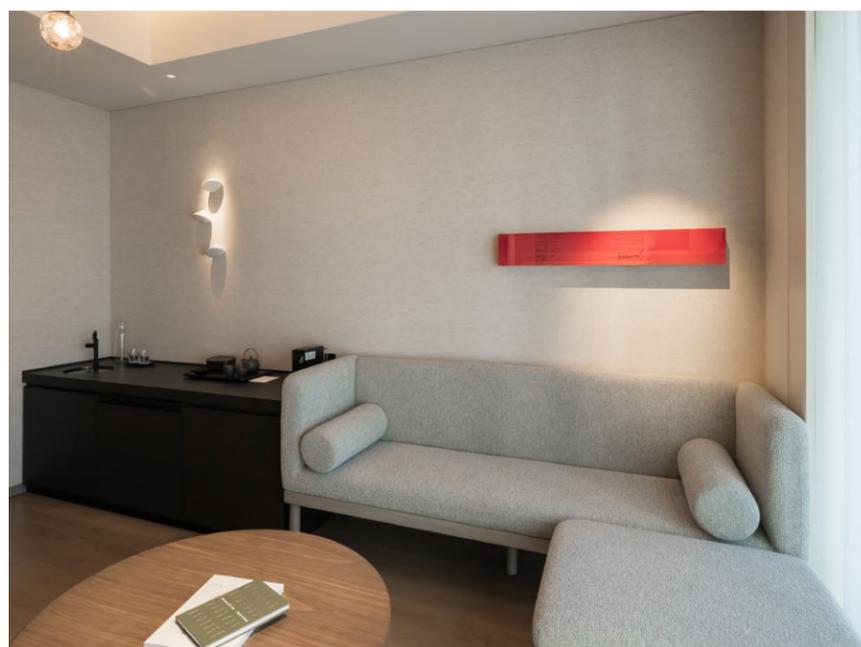
11-12F Hospitality Lounge

東京タワーや虎ノ門エリアの風景を一望できる総床面積 350㎡におよぶ2層構造の広々とした「The Lounge (ザ・ラウンジ)」。宿泊客専用の特別な空間として、パブリックとはまた違った時の流れを感じさせるアートワークを随所にちりばめています。



11-14F Guest Room

『URBAN MIXOLOGY』のコンセプトから、客室内のアートワークにおいては Reflect、Calm、Crafted の3要素を抽出し、よりプライベートな空間においてアートの存在を直接的に感じてもらえるよう、洗練されたモダンな表現の中に存在する繊細な表情が美しいアートをコーディネートしました。



ICA

Interculture Art Inc.

ICA Bldg. 4F, 560-2 Waseda-Tsurumakicho,
Shinjuku-ku, Tokyo 162-0041

t: +81(0)3-3207-3911

e: contact@intercultureart.com

intercultureart.com

©Interculture Art Inc.